

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年 1月 9日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	原子炉冷却材浄化系ろ過脱塩器(A)出口流量調節弁用動作空気圧力指示計において、指示値のオーバースケール(目盛板上限值超え)が認められたため、当該圧力指示計を点検・修理。	GⅢ	1月8日
2	4号機	換気空調補機冷却系主冷凍機(B)油ポンプ及び冷水ポンプの操作スイッチにおいて、自動復帰の動作が緩慢であること、ならびにギアボックスヒーターの位置保持型スイッチの固着(位置の変更できず)が認められたため、当該スイッチ(3箇所)を交換。	GⅢ	1月8日
3	3・4号廃棄物処理設備	塩分除去装置(A)計量タンク入口配管継手溶接部近傍において、処理水の滴下(約10秒に1滴 汚染なし)が認められたため、当該継手部を点検・修理。 なお、念のため、下部に受皿を設置。	GⅢ	1月7日